

医薬理工学環（修士課程）

Graduate School of Pharma-Medical Sciences



設置の趣旨・必要性

- 社会変革に伴いイノベーションが求められている現代社会の中で、**挑戦性**、**総合性**、**融合性**、**国際性**を持った学術研究に対する要請
- 生命融合科学教育部(博士課程)での**領域横断型教育**を進展させ、修士・博士課程において領域横断型の融合教育を実施

養成する人材像

医学、薬学、理学及び工学を総合した特色ある教育と研究を礎とし、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を培い、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を有する専門職業人又は教育研究者としての人材を育成

創薬・製剤工学プログラム 【修士(薬科学)】

創薬・製剤の知識と技能を生かし、製薬企業の創薬部門における医薬品設計や製剤開発研究部門における製剤設計担当など、創薬・製剤科学をはじめとする薬学領域において活躍できる研究者、専門的技術者を育成

応用和漢医薬学プログラム 【修士(薬科学)】

和漢医薬学を応用できる専門的で幅広い知識と技術を授け、医薬品開発とレギュレーション、未病研究に基づいた健康・医療の創生などを行える薬科学関連領域の研究者・教育者・技術者、および審査官(行政官)など、和漢医薬を含めた伝統医薬からの創薬と人々の健康維持、並びに学術研究の進歩に貢献できる人材を育成

認知・情動脳科学プログラム 【修士(神経科学)】

幅広い観点から認知・情動脳科学の専門知識を修得して研究を実践し、他者と議論できる学識と研究者倫理を有し、重要で挑戦的な脳神経科学や脳神経疾患の研究テーマへの取組をととして、製薬企業等における医薬品研究開発者、人工知能の開発者や技術者等の人材を育成

メディカルデザインプログラム 【修士(医工学)】

先端的な医療・福祉機器・サービスの研究開発を担うことができる人材を育成するとともに、博士課程に進学して未来の医療・福祉研究分野を創造し、デザインする研究者や開発者を目指してさらなる研鑽を積む人材を育成

医薬理工学環の特色

1. 融合教育の実践

- 生命融合科学教育部で行ってきた**専攻を超えた相互指導**をはじめとした融合教育を進展させ、修士から博士までの一貫した領域横断型の**融合教育**を実施

2. 医薬学と理工学の学際的領域横断型教育の実施

- 総合医薬学研究科と理工学研究科が連携して教育プログラムを提供
- 医学、薬学、理学、工学分野の教員が学問領域の分野を超えて**学際的領域横断型教育**を実施
- **学環共通科目**を設定するなど視野の広い修士人材を育成
- 富山大学の特徴と強みである、創薬・製剤、和漢医薬学、認知・情動脳科学、メディカルデザインの医薬理工学環のプログラムとして設定
- 地方創生の観点から、富山県における産業ニーズを踏まえてプログラムとして設定

